

COMPASS



答えの無い問いを探していく。そんな時代だから目指す方位を指し示すものが要る。そのようなものに私はなりたい。

今年度の全国学力・学習状況調査の各教科で授業改善につなげていただきたい問題等を「授業実践アイデア例」として作成しました。今号で国語、次号で算数・数学の概要をこのCOMPASSでお伝えします。詳細な単元の流れ等は、HPにアップしていますので、是非御活用ください！

小学校国語編 授業改善のポイント！

2 ニ 【領域 「B 書くこと」 ウ 考えの形成】

<出題の趣旨>

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

- 問題概要 【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く。
- 条件 ①「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いている。
②【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いている。
③60字以上、100字以内で書いている。

●調査結果

自校の結果を記入し分析しましょう。

平均	自校	千葉県	全国	無解答率	自校	千葉県	全国
正答率		54.4%	56.6%			5.7%	4.9%

【課題】 誤答の解答類型を分析すると、「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いているが、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いていない解答の割合が高いことがわかる。

授業改善案

- ①学習意欲を高める題材設定の工夫
- ②言語活動を通して自分の考えを形成する学習過程の設定

自分の考えと考えを支える理由や事例との関係を明確にすることが大切ですね。このことは、「B 書くこと」第3学年及び第4学年「考えの形成、記述」で示されています。



授業実践アイデア例 もしものために、防災リーフレットをつくろう（4年生）

過程	主な内容	授業改善のポイント
見いだす 学習の見通し 題材の設定	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害について話し合い、災害及びその被害について考える。 ○モデルリーフレットをもとに、効果的なリーフレットについて検討する。 ○学習計画を立て、単元のゴールまでの流れを確認する。 	指導者がモデルを事前に作成し、学習過程や学習活動ゴールイメージを児童と共有する。
自分で取り組む 情報の収集 内容の検討 構成の検討 考えの形成・記述	<ul style="list-style-type: none"> ○題材を決定し、インターネットや本で情報収集を行い、ワークシートにまとめ、整理する。 ○ワークシートをもとに組み立て表を書き、それを基にグループで話し合う。 	組み立て表をもとに、自分の考えと調べたこととの関係を明確にし、それぞれを区別して原稿を作成する。
広げ深める 推敲	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで原稿を読み合い、意見を伝え合う。 ○友達の意見を参考に、自分の文章を推敲する。 	グループで共有する際に、「相手意識」「目的意識」の視点で、自分の考えと調べたことが書かれているか確認する。
まとめあげる 清書 共有 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えと調べたこととの関係を明確にし、リーフレットを仕上げる。 ○全体でリーフレットを紹介する活動を行い、学習を振り返る。 	「振り返り」を通して、自らの学びを意味付けたり、価値付けたり、共有したりし、肯定的な感覚や感情を得ることができるようになる。

中学校編 授業改善のポイント！

2 四【「C 書くこと」ウ 精査・解釈】

<出題の趣旨> 目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる。

- 問題概要 着目する内容を二つの中から一つ選び、要約をする。
 - ア 葉の形を表す言葉にはどのようなグループがあり、どのような特徴があるか。
 - イ 数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあるか。

自校の結果を記入し分析しましょう。

平均正答率	自校	千葉県	全国	無解答率	自校	千葉県	全国
		41.6%	42.6%			8.8%	8.4%

「要約」の活動を取り入れた授業を行う上では、「要点・要旨・要約」の違いや「要約する」という活動の本質を理解することが大切です。全国学力・学習状況調査がもつメッセージをふまえて作成した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業アイデア例を紹介します。

授業アイデア例 新書ブックフェア ～要約を通して新しい知の扉を開こう～

学習指導要領における内容

【第1学年】思考力、判断力、表現力等 C(1)ウ

- 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。

要点 文章の重要な箇所。中学校学習指導要領解説では「キーワード」「キーセンテンス」等の表現が用いられている。

要旨 文章で取り上げている内容の中心となる事柄や書き手の考えの中心となる事柄。

要約 概略を理解するために文章全体の内容を短くまとめたり、情報を他者に伝えるために必要な部分を取り出してまとめたりすること。目的や必要に応じて内容や分量、方法が異なる。

単元の流れ

見いだす

- 単元のゴールへの見通しをもち、要約の目的について考える。

自分で取り組む

- 共通教材の説明文を読み、目的に応じて要約をする。

広げ深める

- 自分が選んだ新書について要約し、紹介カードを作る。

まとめあげる

- 新書ブックフェアを開く。
- 学習の振り返りをする。

筆者の主張と事例の関係がわかりやすくなるように要約してみよう。



筆者が特に伝えたい部分を取り上げて、その部分を要約してみよう。

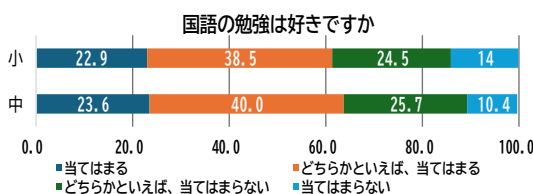


「要約＝短くすること」ではありません。目的に応じて要約する内容を決める等、ねらいのある要約活動を行うことが大切です。

より具体的な単元の流れは、HP掲載の授業実践アイデア例を御覧ください。



学力向上の窓



左のグラフは、今年度実施した全国学力・学習状況調査の児童生徒質問による「国語の勉強は好きですか」への県全体の回答状況です。

国語の勉強が好きな児童生徒ほど平均正答率が高い傾向となっていました。

授業改善を通して、国語好きの児童生徒を育てていきましょう。